

第 107 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和元年 9 月 27 日（金）
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 9 人
 - 出席委員の氏名
 - 相京恵 / 今井陽子 / 小澤健一
 - 風間隆之 / 風間まり子 / 佐藤正幸
 - 竹中隆 / 渡木秀徳 / 吉村巳之
 - 欠席委員の氏名
 - 飯島哲也 / 清水一希 / 高井俊一郎
 - 吉井照雄
 - ラジオ高崎 2 人
 - 放送局長 田野内明美
 - 放送部長 吉良武夫
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - おはようサンデー内「休日部室トーク」について
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要（別紙）
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内
 - <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和元年 10 月 20 日（日） 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

7 その他の参考事項

(別紙) 議事の概要

- ・ 放送局長田野内より挨拶。
- ・ 事務局より特別番組の実施報告と放送予定の紹介。
 - 7/24(水) 1:00～ 4:30 大雨洪水警報及び避難勧告発令に伴う特別放送
 - 8/3(土) 12:00～22:00 第45回高崎まつり特別生放送「おまつりラジオ!!」
 - 8/20(火) 14:00～15:00 SIO.COM 公開収録「大崎章&西山小雨トーク&ライブ」
 - 9/10(火) 21:25～22:35 高崎市の停電に伴う特別放送
 - 10/5(土) 11:00～11:54 高崎音楽祭スペシャルトーク①「PERSONZ」
 - 10/12(土) 11:15～11:44 高崎音楽祭スペシャルトーク②「山中千尋」
- ・ 事務局より審議対象番組(コーナー)の説明。

「休日部室トーク」…おはようサンデー内で毎月第4週に高崎市内の高校の部活動を紹介している。リラックスした雰囲気での収録を心掛け、どういった部活動をしているのか高校生にありのままの話をしてもらっている。

収録・インタビュー、制作担当：大江響子
- ・ OA 素材の試聴

「休日部室トーク」…2019年8月25日(日) 午前9:00～9:18
紹介した部活動「中央中等教育学校管弦楽部」
- ・ 番組説明と OA 素材試聴のあと、他の既存番組等も含めて広く意見を求めた。

委員各位の意見

「休日部室トーク」について

- 放送を通して届けられる高校生の笑い声は、多くの人を元気にすると思う。中央中等教育学校は中高一貫校で若い世代ではあるものの、その中でもジェネレーションギャップがあるというのを知って驚いた。ハキハキとしているけれども楽しい雰囲気が伝わってくるのは、発表会などを通して普段から大勢の前で表現することに慣れているからだと思う。18分という長さを感じさせない出来で素晴らしい。

○中央中等教育学校の PTA 会長をしているが、同校の生徒は発表する形式の授業が多いので話が上手なのだと思う。リラックスした話の中にも演奏を届ける時間や音楽会のインフォメーションも入り、内容的にも良かった。

○こういった部活動でも活動内容が公になることはやりがいにもつながると思う。ラジオで紹介されることを目標に頑張るというのも考えられる。良い連鎖が生まれる可能性もある。リスナーとしては、今の高校生の本音を聞くことが出来る。ずっと続けて欲しい。

○子供がいない方でも、若い世代の様子がよく分かる番組である。コミュニティ FM ならではの視点で、生徒はすごく良い経験ができ郷土愛の醸成にもつながる。

○高校生の発信力に驚かされた。学生はラジオ放送を通して部活動へのモチベーションがアップすると思う。放送されたものが学校でも流されれば、友達同士の横のつながりも持てるのではないかな。

○若い世代はラジオをスマートフォンで聞く時代。高校生に出演してもらうこのような番組が、小中学生も含めた多くの若者に届くことでラジオ高崎の新たな可能性を見出せると思う。

(事務局)「休日部室トーク」というコーナータイトルの通り、収録の際も担当者が明るく楽しん雰囲気づくりを打ち合わせの段階から心掛けています。メディアなどで紹介されることがあまり多くない部活動にスポットライトをあて、学校に連絡をして出演交渉をしている。今までは部活動の顧問の先生から番組の事前告知などをしてもらっていたが、今後、取材の際に学校全体に放送の事前告知をしてもらえるようにお願いしようと思う。

番組全体について

○「休日部室トーク」もそうであるが、個人・団体の日ごろの活動をパブリックなメディアで紹介するのは非常に価値のあること。こういった視点で番組制作に取り組んで欲しい。

○大雨や停電の際には、迅速に緊急放送が出来ていた。特に、9/10 の停電の際には、

高崎市役所に入ってくる情報が遅かったため高崎市役所広報広聴課より要請した東京電力の情報を速やかに放送してもらったのはありがたい。また、ラジオ高崎としても可能な範囲で独自取材などにより市民からの情報を収集して欲しい。尚、高崎駅周辺はすぐに復旧したが、新田町は1時間以上停電していた。突然発生する停電や気象災害などの際、すぐにラジオから情報を入手してもらえるように普段から習慣として聞いてもらいたい。そのような番組づくりに期待する。

- 美術館の学芸員の方の話は大変興味深い。実際に足を運んでみたくなる。
- 「休日部室トーク」も含めて多くの魅力的で役立つコンテンツや情報があるのだから、HPやSNSでの事前告知をさらに充実させるのもよい。ラジオ高崎の番組情報やイベント情報などをQRコードにして告知する方法や、フライヤーや番組表などを店舗においてもらいPRする方法もある。

以上